

国際経営

谷口 真美 教授

mami@waseda.jp

1. 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

国際経営活動を組織、集団(チーム)、個人という3つの観点から研究している。とくに、次のテーマに取り組んでいる。

(1) 多国籍企業の戦略変革プロセス。

トップマネジメントチームの多様性のどの側面が、変革の段階によって顕著になるのか。

(2) 多様性と成果とのかかわりをマルチレベルで分析。

個人のインクルージョンの意識が、チーム、職場、組織の多様性と成果とのかかわりに影響を与えるか。

(Diversity & Inclusionが媒介するメカニズム)

(3) 5C (Cross-Cultural Collaboration on Contemporary Careers 現代のキャリアに関する異文化比較研究)。

5Cプロジェクトは、ローカルとグローバルの双方の視点でキャリアを理解することを目的としている。当初は、12か国のインタビューを基にした質的な調査で開始されキャリアの成功の定義とキャリアの移行について国際比較を行った。より最近では、24か国以上に研究対象を拡大し、職業、年齢、性別、国のコンテキストによって、個人のキャリア意識と行動が異なるのかについて定量分析を行っている。個人のキャリア期待、キャリア行動とその結果が、国によって異なるのか。また、その違いが、文化、国の制度によってどの程度、説明し得るか。さらに、2020年度からは、COVID-19パンデミックが、個人のキャリアにどのような影響を与えたかについて多国間比較分析を開始している。

2. 指導方針

国際経営論、組織論、組織行動論に関する既存研究を欧文・邦文を問わず読む。それらの分野における基本的な理論、概念、フレームワークについては適宜とりあげ、いかに研究が積み重ねてきたのかを検討する。質的調査と量的調査の双方を用い、ミクロとマクロのアプローチのギャップを埋める。

3. 学生に対する要望・その他

国際経営論、組織論、組織行動論の基本的な理論、概念、フレームワークについて、事前に自ら学んでほしい。当該分野の古典から近年の研究にいたるまでの既存研究にできるだけふれる機会をつくってほしい。さらに、フィールドリサーチや質問票調査に必要とされる研究方法論、統計分析の知識も身につけてほしい。